

非核の政府を 求める大阪の会

ニュース

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
 URL・http://hikaku-osaka.jp/
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
 hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp

第186号 2018年7月1日

北東アジアの非核化へ大きな一歩

米朝首脳による シンガポール共同声明を歓迎します



非核の政府を求める大阪の会 事務局長談話
 豊島達哉

一・トランプ大統領と金

正恩國務委員長は六月一二日、シンガポールにて首脳会談を行い、共同声明を発表しました。日本、北東アジア、そして全世界の平和と核兵器廃絶を求める当会としては、両首脳によるこの歴史的合意を心から歓迎するものです。

シンガポールで両首脳が署名した合意文書では前文で「朝鮮半島の持続的で強力な平和体制構築」を謳い、「トランプ大統領は朝鮮民主主義人民共和国に安全保障を提供することにし、金正恩委員長は朝鮮半島の完全な非核化に対する強固で揺るぎない意志を再確認した」「相互間の信頼構築が朝鮮半島の非核化を増進するだろう」という認識を共有したと記載されています。

核兵器廃絶も平和も、相手を敵視し、圧力を加えたり威嚇することに よって構築できるもの ではありません。平和は 粘り強く対話を続け、積極的・意識的に友好関係を作り出すことにより、

もたらされます。

今回の米朝の合意はアメリカ合衆国が朝鮮民主主義人民共和国の安全を保障し、朝鮮民主主義人民共和国は朝鮮半島の完全な非核化の強固な意志を表明しており、威嚇や圧力ではなく、対話と信頼に依拠して平和・非核化への一歩が踏み込まれたことに大きな価値があります。二、この共同声明が発表された後、「内容に具体性がない」とあるとか、「北朝鮮はまた裏切るのではないか」という一部議論が一部でされています。

対話と信頼に基づいて平和を構築しようとする動きを忌み嫌い、殊更に今回の共同声明の価値を低めようとするこれら議論は北東アジアの平和・非核化の流れに抗う動きであり、「最大限の圧力をかけるべき」「対話のための対話は無意味」「危機突破！」と軍事的緊張感を高めることにより政権維持をしてきた安倍内閣の姿勢と共通するも

のでもあります。

この共同声明は、米朝の首脳同士が史上初めて直接対話し、合意に達し、そして直接署名文書を交換したことに大きな意義があります。今までの北朝鮮と米国あるいは六カ国協議での声明とは重みが違います。また朝鮮半島の非核化、平和構築は一朝一夕に叶うものではありません。平和・非核化の実現は一回の共同声明で全てが解決できるようなものではありません。この共同声明は最初の第一歩「プロセスの始まり」であることを忘れてはなりません。

今回の声明で確認した相互信頼の構築を進める中で、非核、平和の課題を進めていくべきものであり、私たちも北東アジアの一員として、この共同声明のさらなる発展を注視していきたいと考えます。

禁止条約に参加するのが合理的です。そして北東アジア全体の平和・非核化をめざすのであれば、北朝鮮だけでなく、日本、韓国、中国等もまた、核抑止論の呪縛から抜け出して、核兵器禁止条約に参加し、北東アジアの政治状況を敵対と圧力・威嚇の関係から、信頼と友好の関係に変換すべきです。唯一の戦争被爆国である日本はその先頭に立つべきです。

具体的には日本は核兵器禁止条約に直ちに参加し、北東アジアのみならず世界に対して、核兵器禁止条約の意義を訴え、参加を呼びかけるべきです。また、北東アジアにおける敵対と圧力・威嚇の政治関係を前提にした日米安保条約の在りようについて再検討をすべきです。

朝鮮半島が信頼と平和、非核の道に第一歩を進めた今、日本もまた、非核の政府に大きく政策転換をすることを求めるものです。



シリーズ No.8

宗 教者と非核平和

天理教 平山榮子

同郷の吉田松陰が、「ただ人は真なれ」と説いたが、安倍首相の真の欠片もない言動が私には恥ずかしい。彼の選挙区(山口四区)に私の天理教分教会はある。元々、ようぼく信者は人が良く柔順な人が多く、それが信仰だとされていながら、上意下達で無抵抗、議論は殆んどない。ふるさとを離れたせい、元々の気質なのか、信仰や社会の見方が大きく変わってきた。信仰はあくまで信者個人の意志で物事を判断すべきもの。その指針は己の宗祖教祖がメドであり、決して本部信仰と同一ではない。たとえ、周りから孤立し非難されても、

その指針さえぶれなければ、思わぬ縁や出会いでひとだすけ、社会助けの運に恵まれ、これこそが教祖信仰の極みである。

私の親しい日系アメリカ人ジャーナリストが、今春続けて問題作を発表した。「漂流するトモダチ」朝日新聞出版。原発事故後、誰が何を隠し、何を守ろうとしたのか。昨年日テレNNNDキュメンタリー賞を受賞したが、そこでもカトツとされ語られなかったことを被ばく兵や小泉元首相のインタビュを交えて不都合な真実を暴露したものだ。又、構築50年「満州天理村生流里の記憶」が完成。天理教教団の裏面史七三一部隊との関わりが引き揚げ者の体験談、資料に加え、独自の米国保存文書と付き合わせ証明された貴重な歴史書だ。発売直後、圧力がかかり店頭から撤去されたが、アマゾンでも二カ月で品切れ、即重

版が決定、各新聞が書評掲載。

新潟県知事選には落胆したが、この国はまだまだ捨てたものじゃない、と長州女は思う。

***以上
非核と科学 No.7

原 発と原爆の同異

―どちらもイニシエーターが必要―

松山奉史

原発と原爆は核分裂反応で放出される核エネルギーを利用しています(前回参照)。反応の特徴は中性子(以下nと記す)を仲立ちとする連鎖反応ですが、その進行具合は原発と原爆では異なっています。その差異を解説している図(U-235が核分裂で二個の核分裂片に分かれ、その際二個のnが放出されることを仮定している)を目にすることがありますが、その図を反応に与かるnの数に注目して追いかけてみると、

原発の場合: n(i) ↓ n(1G) ↓ n(2G) ↓ n(3G) (I)
原爆の場合: n(i) ↓ 2n(1G) ↓ 4n(2G) ↓ 8n(3G) ↓ ... (II)

但し、n(i) : 最初にU-235に吸収されて分裂を誘起するn (iは“初めの”の意),
1G、2G、...
.. 第一世代、第二世代...の意、

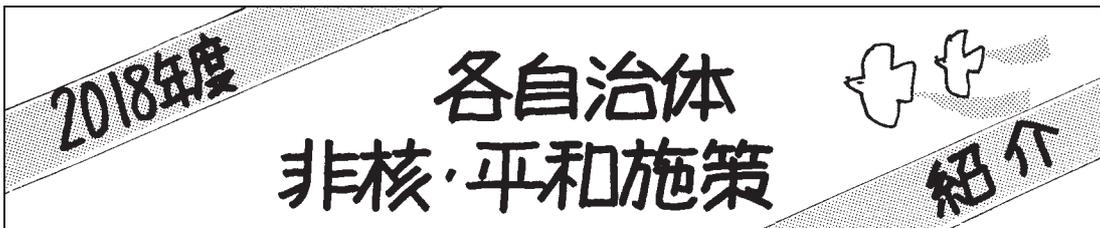
のようになっています。式Iは各世代で生まれる二個のnのうち常に一個のみが次の反応に与かる(実はそうなるように反応は制御棒等で制御されている)ことを述べており、原爆が定常運転の状態にある臨界状態の様子を示しています。式IIは各世代で生ずるnの全てが如何なる制御も受けずに反応に寄与し、核分裂がネズミ算式に途方もない数へと増大していく様子を示して

ます。つまり、原発と原爆では連鎖反応の進行にこのような差異があるというわけです。ところで、式I、IIの反応が起きるためには最初にU-235に吸収されるn(i)が何処から来るのか知りたくありませんが、上述した反応解説図にはその由来(出所)の明確な指摘はありません。

そこで、n(i)として自然界から飛来するnとかU-235やU-238の自発分裂で放出されるnを利用してもよいように思われるのですが、こうしたnの候補は数も少なく気まぐれにしか飛んで来ませんから、思い通りに利用することは実際のところ非常に困難なのです。原発や原爆を使用するに当たっては、必要などときには任意にI、IIの反応を開始させ、両者の機能を自由自在に確実に発揮させたいのですから、n(i)は(通常の燃焼における火種のように)何時でも供給でき

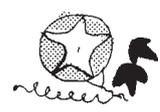
るように何らかの形で別途用意されていることが必要になります。それがイニシエーターあるいは中性子源と呼ばれるもの(例えば、ローソクに点火するライターに相当)で、原発にも原爆にも必須の装置になっています。教科書によれば、酸化アメリカシウム(Am)・241とベリリウム(Be)金属の粉末の混合物を圧縮してペレット化したAm・Be中性子源が原発用イニシエーターの一つになっています。Am・241のα崩壊で放出されるα線をBe金属に当ててnを発生させ、これをn(i)とするわけですが、この装置は典型的には1秒間に約二〇〇万個のnを発生するそうですから、原発ではU-235が含まれている燃料体のあちこちで反応開始点が行っていることになり

ます。原爆用イニシエーターの構造については詳しい情報を持ち合

		毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介します。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度の抜粋です。関係者の皆様のご協力に感謝します。尚、放射線測定器所有の有無等全項目は会ホームページをご覧ください。(6月初旬集約)
自治体	今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 ④平和首長会議呼びかけのヒバクシャ国際署名について、首長含む自治体での署名状況及び取り組み状況	原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策
大阪府	①大阪国際平和センター(ピースおおさか)において戦争・平和に関する展示、映画上映、紙芝居、資料貸出、戦跡ウォーク等を通年実施(小中学生は入館無料、子ども向け映画上映等)②平和団体等へ知事メッセージを送付③ピースおおさかへの補助金70,853千円(補修・改修工事費28,535千円含む)④行っていない	①一般社団法人 大阪府原爆被害者支援協会②「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づく施策の実施
大阪市	①ピースおおさかにおいて、講演会・映画会等を実施②平和行進等にかかるメッセージの送付 ③平成30年度当初予算70,846千円(大阪国際平和センターの運営補助(設備改修補助金28,535千円含む)) ④本市ホームページにおいて、平和首長会議ホームページへのバナーリンク掲載	①②所管部署なし
能勢町	①「能勢町人権と平和のつどい」 ②該当なし③1,261千円④該当なし	①②把握していない
豊能町	①小中学校の修学旅行で広島、長崎を訪れている。8月の平和登校日等で平和に関して学習する。②なし③なし④なし	①なし②なし
箕面市	①平和関連のパネル展等を行う予定(らいとびあ21)。平和関連のパネル展等を行う予定(ヒューマンズプラザ)。戦時生活資料展予定(郷土資料館) 以上展示は日時未定。②ピースフェスタ等は後援名義使用申請があった場合、使用基準を満たすものであれば承認。平和行進等については、可能な範囲で受け入れ対応している。③48千円(平和施策、人権、国際理解などと一体化した事業として)④特になし	①箕面市原爆被害者の会②大阪府が年2回実施する健康診断を受診する市内在住の被爆者への奨励金を支給
池田市	①各小・中学校とも7～8月に非核・平和に関する学習を実施。(平和登校日、平和のつどい等)。修学旅行で小学校は広島、中学校では長崎・沖縄を訪れ平和学習を実施。毎年8月に平和と人権・狭山を考える池田市民集会を実施②特になし③585千円④なし	①なし②なし
茨木市	①(1)非核平和展を開催予定 平成30年7月31日(火)～平成30年8月5日(日)。(2)阪急茨木駅並びにJR茨木駅前にて非核平和街頭啓発を実施予定。平成30年8月9日(木) (3)市役所本庁において、原爆死没者を慰霊し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける市内放送を実施する予定。平成30年8月6日(月) 平成30年8月9日(木)。②市内4団体への平和行進・平和マラソンへの協力③2,034,000円	①茨木市原爆被害者の会②なし
高槻市	①修学旅行において、小学校(全校)では広島、中学校では長崎・沖縄を訪れ、平和学習を実施 小学校等での被爆アオギリ2世及びクスノキ2世の植樹(予定)。平和展の開催(8月2日～3日) <パネル展示等>(8月2日～3日)・特別展示、戦時資料・パネル等の展示、市内小学校での平和学習のDVD上映、折鶴・手作りおもちゃコーナーなど。<映画会>(8月2日)「この世界の片隅に」映画上映 <音楽祭>(8月3日)「愛・いのち・平和」をテーマにした市内アマチュア合唱団による合唱 ・市広報誌での非核・平和に関する記事の掲載 ・原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とう実施のよびかけ ・各種非核平和行進隊へのメッセージ送付など②国民平和行進等に対し市長からのメッセージ代読及び激励・見送りを行っている。③平和展事業1,004千円、その他平和モニュメント等の清掃、日本非核宣言自治体協議会分担金など163千円、合計1,167千円④平成29年度に高槻市長名で署名を行っている。	①高槻市原爆被害者の会②原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく施策の実施(健康診断、各種申請の大阪府への経由等)
島本町	①8月に補助金交付団体と協力し、子ども向けの平和関連映画の上映及び満州引揚に関するお話を実施予定。広報しまもと8月号に平和啓発記事を掲載予定。②平和市民マラソン等へのメッセージの送付。③20千円。ほか、8月に補助金交付団体の予算にて平和関連事業を実施予定。※補助金交付団体との共催で、平和に関するパネル展示を実施予定。④特記事項なし	①島本エーボン被害者の会②福祉金の支給、健康診断に係る送迎(月額2,500円/人)
吹田市	①・小中学生への啓蒙では人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集(教育委員会)・平和大使派遣(市民の代表として中学生を広島市へ派遣する)・市民平和のつどい 非核平和資料展(「シベリア抑留のいろはかるた～イラストで描く抑留生活～」) 平和を題材とした催し(落語と浪曲の夕べ～伝統芸能が伝える平和へのメッセージ)・「吹田の空襲展」・原爆に関する展示(仮題)・平和祈念資料館の管理運営。市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の収集と貸出し、平和映画会の開催、その他平和に関するイベント・平和祈念資料館企画展 「薄れゆく引き揚げの記憶～「おかえりなさい」の港・舞鶴」②6～7月に行われる平和行進について、市役所にて水分補給のため、湯茶を提供。③37,988,000円 ④吹田市長署名済み	①吹田市原爆被害者の会(吹閃会) ②【原爆被爆者(一世)支援事業】原爆被爆者相談活動への援助、原爆被爆者支援活動補助金、【原爆被爆者二世支援事業】原爆被爆者二世健康管理手帳の交付、原爆被爆者二世健康検査、原爆被爆者二世に対する医療費助成
摂津市	①7、8月を平和月間と定め各種事業の実施 ・平和コンサート、平和パネル展、市内公共施設における映画会等 ・平和黙祷の実施 ・広島・長崎への記念式典への派遣(隔年)他②平和行進の受入等の支援、平和行進団体の激励、メッセージの送付 ③717千円(平和施策推進事業)④市長署名済み。平和コンサートの来場者に対して、署名を呼びかけている。	①摂津市原爆被害者福祉協議会(1世、2世が構成員)②1世・市立温水プール利用料免除、府営住宅申込資格、国民健康保険料減免、戸籍事項に関わる無料証明、市民税減免。2世・原爆被爆者二世に対する医療費助成、原爆被害者二世に対する一般健康診査

<p>自治体</p>	<p>今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 ④平和首長会議呼びかけのヒバクシャ国際署名について、首長含む自治体での署名状況及び取り組み状況</p>	<p>原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策</p>
<p>豊中市</p>	<p>①平和月間事業・展示 原田小学校6年生平和学習の作品・・・原田小学校6年生が、平和学習の取り組みを通して、それぞれが選んだテーマについて調べまとめたものを展示(8月1日(水)～8月24日(金)岡町図書館。・ほたる平和映画会(蛭池公民館と共催)8月15日(水)蛭池公民館第2集会場。・(1)『大阪大空襲の体験画』パネル展・・・戦争を知る人が少なくなった今、空襲体験者が描いた絵のパネル展を通して、その悲惨な事実を知ることにより、戦争の恐ろしさを語り継ぎ、命の尊さ、平和の大切さを未来へ繋いでいく機会とする。7月28日(土)～8月2日(木)蛭池公民館 (2)『ほたる平和映画会(蛭池公民館と共催)8月15日(水)蛭池公民館第2集会場。・へいむとじんけんパネル展・・・平和に関する新聞記事等の切り抜きや絵本などを玄関ロビーに展示。8月の平和月間において、平和のありがたさと戦争のおろかさを感じる。8月中 蛭池人権まちづくりセンター。・平和月間事業 元ひめゆり部隊員 新川初さんのお話・・・元ひめゆり部隊の新川初さんを講師にお迎えし、戦争体験をお話しいただく。8月29日(水)千里公民館集会所。・平和な世界をこどもたちのために 国連の現場から・・・国連職員(ユニセフ)として、東ティモールなどに派遣された講師の体験から平和について考える。講師:関西学院大学教授・久木田純さん 8月18日(土)中央公民館。・平和月間事業 パネル展とDVD上映・・・大阪国際平和センター所蔵の写真パネル(ヒロシマ・ナガサキ)を展示すると共に、平和づくりへ自ら参加することの大切さを訴えたアニメ映画「つるのつる」を上映し、戦争を実際に体験した人々が減少する現在の世界について考える。8月2日(木)～7日(火) 青年の家のいぶき。・平和月間事業 旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」・・・平和の大切さについて考える機会として広島にまつわる被爆者の思いをテーマとした講談、一人芸を上演。8月18日(土) 伝統芸能館。・(1)「平和と学び」パネル展・・・戦争と被爆の実相や大切さへの理解を深めるとともに、「核兵器のない世界」を目指して子どもたちにもできる取り組みがあることを親しみやすく学べるパネルの展示(1)岡町図書館8月1日(水)～8月5日(日)、野畑図書館8月7日(火)～8月10日(金)、千里公民館8月23日(木)～8月29日(水)②「ユニセフってなあに」パネル展・・・ユニセフの歴史や活動内容・現在子どもたちが置かれている厳しい状況について学び、子どもたちにやさしい地球を残すため、ユニセフと一緒に考え、行動することを呼びかけるパネル展。8月11日(土)～8月18日(土) 中央公民館 ③「ヒロシマ・ナガサキの原爆被害から考える平和」パネル展・・・平和な社会を築くため、一人でも多くの市民に原爆の被害と平和についての理解を深めてもらうために、核兵器に関する問題について考えるパネル展 8月7日(火)～8月9日(木) 市役所第二庁舎一階ロビー④講演会・・・未定 講師:未定 日時:未定 会場:未定 ・平和月間事業「私たちの街が燃えた～今、平和を考える～」・・・身近な街の戦争の写真や映像を見せ、戦争体験の継承と平和の大切さを考える。8月17日(金)～8月22日(水)庄内公民館。・展示「戦争と平和の本」・・・市内8図書館において、近代から現在までの戦争と平和に関する本を幅広く集め、展示・貸出を実施。 ①8月1日～8月31日岡町図書館・服部図書館・庄内図書館・東豊中図書館②7月1日(日)～8月31日(金)高川図書館・野畑図書館③7月3日(火)～8月30日(木)千里図書館④8月1日(水)～8月29日(水)蛭池図書館・平和月間パネル展「未定」・・・パネルを通して、平和と人権の大切さを確認する機。未定(8月中) 豊中人権まちづくりセンター。・高齢者ふれあい交流会「朗読と創作紙芝居で平和を学ぶ」・・・地域の高齢者や子どもたちと、創作紙芝居や詩の朗読を通して「平和」について共に学び考え、平和の大切さを再確認する。①朗読 朗読グループ草の実会さん②創作紙芝居 菊池和美さん 7月27日(金) 豊中人権まちづくりセンター-老人憩いの家。・人権文化のまちづくり講座「未定」講師:未定 8月中 豊中人権まちづくりセンター。・第67回 戦没者並びに空襲犠牲者追悼式・・・戦没者並びに空襲犠牲者の方々の冥福をお祈りし、平和を祈念する。ご遺族をはじめ市民を対象に。無宗教・献花方式で追悼を行う。10月1日(月) とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ。 ※H30年6月11日現在情報、事業内容変更の場合あり。②後援・共催については、市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている。③1,060,296円④市長・副市長に署名して頂き、職員には周知し希望者のみ署名にて対応。平成28年度に日本原水爆被害者団体協議会へ送付。</p>	 <p>①豊中市原爆被害者の会②高齢被爆者相談等事業、豊中市内小・中学校への伝承活動</p> 
<p>枚方市</p>	<p>①4月 戦争遺跡 妙見山煙突見学会 7月～8月 平和資料室特別展及び平和映画会 10月 バスで巡る市内の戦争遺跡 10月～11月 戦争遺跡 妙見山煙突見学会 3月 枚方市平和の日記念事業(「平和の燈火」「平和メッセージ発信事業」等)※その他、住民団体や学校単位で希望があれば、戦争遺跡等の見学説明会を随時開催 ②市長メッセージなどの対応をしている③8,516,000円④署名については、市民の自発的、主体的な活動によるものであると考えから、「ヒバクシャ国際署名」については署名を控えている。</p>	<p>①「枚方市原爆被害者の会」。「枚方市原爆被害者二世の会」 ②「被爆二世健康管理表」の発行</p>
<p>寝屋川市</p>	<p>①(1)恒久平和を願う市民のつどい(寝屋川市立中央公民館講堂)8月4日(土) ・平和に関する講演会 講師:岸博幸さん テーマ「日本の将来と世界の行方を考える～経済の観点、外交と平和の観点から～」・平和のバラ写真展示。・原爆・戦争パネル展示 ・戦中食「すいとん」試食コーナー 8月7日(火) 恒久平和祈念の式典 市民の皆様から平和の折鶴を募集し、寄せられた折鶴を恒久平和を願う千羽鶴にし、市内平和の塔に捧げる。(2)平和のバラの苗木配布12月1日(土)(寝屋川市立中央公民館講堂)平和のバラを育てることにより幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布。(3)親と子の平和バスツアー 8月1日(水)日帰(参加者小学生以上の親子) 舞鶴引揚記念館等 (4)黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ②市長の祝電・メッセージの対応を行っています。平和行進時に寝屋川市役所を経由する場合はお茶の接待等を行っています。③平成30年度の非核・平和に関する予算額1,629千円④現在のところ取り組んでおりません</p>	<p>①寝屋川市原爆被害者の会(広長友の会) ②健康診断(年2回)</p>
<p>交野市</p>	<p>①交野市平和祈念のつどい映画会(8月9日実施予定) 平和の鐘打鐘(市内寺院の協力により8月6日、8月9日実施予定)②市長メッセージや後援名義、国民平和行進では会場提供等を実施③304,000円④取り組んでいない</p>	<p>①原爆被害者の会 ②なし</p>
<p>守口市</p>	<p>①8月7～9日、「平和のつどい」(パネル展示、講演会、平和映画会等)を開催②「国民平和行進」の出発の際、激励のメッセージ対応をさせていただいています。③42,000円④検討中</p>	<p>①守口市原爆被害者の会②補助金の交付(守口市から被害者の会へ64,000円)</p>
<p>門真市</p>	<p>①(1)児童、生徒への啓蒙活動・・・平和学習として「社会科」の授業における戦争に関する学習だけでなく、「特別活動」における実地学習を行っている。また、「総合的な学習の時間」「道徳の時間」等における国際理解・多文化共生教育を全小・中学校において進めている。(2)住民への啓蒙活動・・・平和に関する映画会(未定)等を実施予定②(1)事業名:第24回2018ピースフェスタ門真。申請団体:ピースフェスタ門真実行委員会(2)国民平和行進等 市長メッセージを送付する等の対応を実施③4,000円④署名への取り組みなし</p>	<p>①門真市原爆被害者の会②平成24年度より休会のため助成なし</p>
<p>四條畷市</p>	<p>7月27日～28日「平和・人権展」語りつぐ平和の大切さ・平和・人権パネル展・語り部コーナー(大阪大空襲と当時の暮らし)・戦中食試食会・映画会「この世界の片隅に」小学6年生を対象に広島への修学旅行事前学習としてヒロシマ被爆者語り部とパネル展「原爆と人間」を実施 8月6日、8月9日、8月15日・黙とう呼びかけ(庁内放送等)来庁者及び職員に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙とうの呼びかけを行う②各団体が実施する平和行進等の受け入れ、市長メッセージ。③平和事務308,000円④取り組みしていない</p>	<p>①活動団体なし ②なし</p>
<p>大東市</p>	<p>①折鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成・平和バスツアー・ヒロシマ記者事業・広報誌や防災無線を使って、広島・長崎の原爆投下時刻、終戦記念日の正午に黙祷・平和パネル展・親と子で平和を考えるつどい②応援メッセージを送付している。③618千円④昨年度実績なし</p>	<p>①大東市原爆被害者の会②団体補助交付金</p>

自治体	今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 ④平和首長会議呼びかけのヒバクシャ国際署名について、首長含む自治体での署名状況及び取り組み状況	原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策
東大阪市	①8月平和のつどい(講演会、資料展、戦争・原爆被害者の話、映画の上映会)を行っている。②各団体の平和行進に協賛。市長・議長メッセージ等を行っている③平和行事経費1,611千円④行っていない	①東大阪市原爆被害者の会②被爆者検診2回、被爆者二世の健康診断1回
八尾市	①・長崎被爆体験講話 市内小中学校 14校で実施(7月)・市役所市民ロビーにて広島・長崎原爆展(非核協賛)を実施(7月~8月)・懸垂幕の設置(8月)・黙とうの実施(8月)・公用車に平和啓発のマグネットシートを貼付(8月)・八尾市の平和への取り組みパネル展示(11月)・戦争遺跡めぐり(時期未定)・市内小中学校に広島・長崎原爆展(非核協賛)の貸出について案内し、希望する学校に貸出。②平和行進等に対し市長メッセージを送付③688千円④第9回平和首長会議において、ヒバクシャ国際署名と連携した核兵器禁止条約の早期締結を求める署名活動を展開することが計画に盛り込まれたことを受け、今後、この行動計画に沿って署名活動を展開して行くこととし、市長も署名を行っている。取り組みとしては、オンラインと窓口での署名についてホームページにて呼びかけている。	①八尾市原爆被害者の会②八尾市社会福祉関係団体育成事業補助金(社会福祉協議会を通して、団体活動に対して助成を実施。72,000円/年)
柏原市	①・8月4日~6日「柏原市平和展」を開催予定・千羽鶴手作りコーナー・平和を考える映画の上映・平和と人権のパネル展示・関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に掲示・終戦記念日に係る黙とう(庁内アナウンス)・市立保育所・幼稚園の園児による平和メッセージカード作成、平和行進への協力②平和行進への協力③1,313千円(平和事業)④なし	①柏原市原爆被害者の会②なし
松原市	①平成30年度非核平和展 8月6日(月)~10日(金)午前9時~午後5時 松原市役所1階市民ロビー、はーとビュー(人権交流センター)・原爆の図丸木美術館所蔵のパネル展示・大阪国際平和センター所蔵資料の企画展示・ふるさとびあプラザ所蔵資料の企画展示・体験コーナー 折鶴コーナー、昔のあそび体験、大型布製紙芝居・上映コーナー(戦争関係のDVD等の上映)・読書コーナー(平和関連の図書や絵本)・ご意見コーナー・啓発物品の配布 ②なし③623千円④なし	①松原市原爆被害者の会②松原市原子爆弾被爆者福祉給付金支給事業。松原市原爆被害者の会への補助金の交付
藤井寺市	①・平和展の開催(8月)・広報紙(8月号)にて平和特集記事を掲載②・毎年8月に市内人権団体との共催で平和展を開催。・平和行進を実施している団体に対して、激励の挨拶、集会所等の提供を実施③市内人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付 128万円④市役所ロビー及び平和展会場にて署名コーナーを設置	①②藤井寺市原爆被害者の会が、2014年3月31日付で解散されたため不明
羽曳野市	①(1)庁内放送により正午に1分間の黙祷を呼びかけ 8月6日(広島平和記念日)、8月9日(長崎原爆の日)、8月15日(平和祈念) (2)「羽曳野市平和展&人権展」の開催(5月5日)・市民フェスティバル会場において、公益財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)より借用の「大阪空襲・市民生活」のパネル展示・平和の願いを込めたハートの風船の配布などを通じて平和の啓発 (3)「2018年羽曳野市ピースアビール」の発表(5月5日) (4)平和ゲートボール大会の開催(5月30日) 日本国憲法が保有する平和主義の精神について広く啓発し、平和の尊さについて考えるきっかけとなることを目的に開催 (5)「平和パネル展」の開催(8月に予定)市役所コミュニティスクエア(ロビー)において、パネル展の実施②平和行進等へのメッセージの送付③236,000円④取り組みなし	①②なし
太子町	①終戦記念日の1分間黙祷②現在予定なし③人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金として712,000円④現在対応なし	①なし②太子町心身障害者(児)等給付金(4500円/年)
河南町	①小・中学生に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月~9月「平和を考えるパネル展」8月中旬「平和を考えるビデオ上映」8月中旬「平和を考える町民の集い」8月末 平和・人権バスツアー(広報で募集を行い、バスで平和関連施設を訪問)10月②なし③230,000円(見込み)④なし	①②把握しておりません
千早赤阪村	①非核平和都市宣言懸垂幕の掲出なし②後援名義等について申請があればその都度対応③予算計上なし④署名済み	①②なし
大阪狭山市	①・8月4日に「平和を考える市民のつどい」を開催し、反戦・非核をテーマにした映画を上映。併せて資料や書籍の展示・市内小学生と保護者を対象としたピースおおさかへの平和啓発学習フィールドワーク・広報誌等で6,9,15日に黙とうを呼びかけ。②・大阪狭山ライオンズクラブが主催する「国際平和ポスターコンテスト」の後援。③国民平和行進大阪実行委員会が主催する平和行進へメッセージの発信。④未定(大阪狭山市人権協会の事業費で実施)。④「平和を考える市民のつどい」で平和首長会議署名とあわせて協力を呼びかけ。自治体対応については現在未署名	①大阪狭山市原爆被害者の会 ②被爆者見舞金支給給付事業
富田林市	①広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日(8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内での黙祷と広報による市民への呼びかけ・小学生による非核・平和ポスターの取り組み・「第34回平和を考える戦争展」8月10日(金)~12日(日)(展示)「日本兵が撮った日中戦争」(仮)「戦時下の市民生活」(仮)大阪空襲、広島・長崎原爆の現物資料とパネル展示。戦時下の富田林(市民からの戦時品・遺品)。折り鶴、ピースアクセサリ、メッセージアートなど。(平和記念講演会)福田 正昭さん(富田林市在住 戦争体験者)(予定)。(映画)人形劇・マリオネットなど・「親子平和の旅」8月5日(日)~6日(月)8月6日「広島平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣。②・「国民平和行進」の受入れ ③2,461千円(被爆者関係除く)。④毎年8月に行われる戦争展にて来場者に署名を依頼。	①富田林原爆被害者の会②原子爆弾被爆者見舞金の支給 原子爆弾の被爆者を激励し、福祉の増進を図るため、毎年8月に5000円の見舞金を支給(申請は7月中)。支給対象者は「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき支給される諸手当を現に受けている者で、7月1日現在引き続き本市に3か月以上居住し、かつ住民基本台帳に記録されている者。
河内長野市	①・市民まつりで、人権・平和にかかる掲示物展示による啓発の実施・「愛・いのち平和展」の実施・「夏休み子ども映画の集い」の実施・「夏休み平和施設見学会」の実施・「広島原爆の日」「長崎原爆の日」「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」に庁内放送により正午から1分間の黙とうを実施。・黙とうの呼びかけを広報紙により市民へ周知②国民平和行進に市長メッセージを送付③393千円④署名していない	①河内長野市原爆被害者の会 ②相談員の配置、健診の推進。
高石市	①・非核平和都市宣言啓発塔の常設(庁舎前)・「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7月25日~8月9日)(小学6年生などから寄せられた「平和ハガキ(約550枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パネルの展示、平和に関連するビデオの映写、小中学校において実施された戦争の語り部事業のDVD上映等。・懸垂幕「核兵器のない 平和な世界をめざそう」の掲示(8月の1ヶ月間)・広報紙(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載。関係機関から送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布。・反戦、非核・平和に関するビデオなど視聴覚教材の貸し出し。・平和を祈念し、市職員と黙とう(8/6・9)の実施呼びかけ(広報紙で市民にも「黙とうに協力を」と広く呼びかける)。・戦争の語り部事業(小中学校において、語り部による戦時体験の講和会の実施)②・原水爆禁止国民平和行進 メッセージ、協賛金、湯茶等の対応。・非核・平和行進 メッセージ、協賛金、湯茶等の対応。・関西網の目反核平和マラソンメッセージ③226千円④平成28(2016)年度に市長(阪口伸六)が署名しております。	①②なし 
岬町	①町内各小学校(3校)・中学校(1校)で平和学習の実施②なし③2,000円④未実施	①一般社団法人大阪府原爆被害者支援協会②なし

<p>自治体</p>	<p>今年度の非核平和施策 ①児童、生徒、住民への啓蒙活動や草の根運動への後援・施策 ②市民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応 ③今年度の予算額 ④平和首長会議呼びかけのヒバクシャ国際署名について、首長含む自治体での署名状況及び取り組み状況</p>	<p>原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策</p>
<p>堺市</p>	<p>①「さかいつこ」作文、わたしからの人権メッセージ募集。「平和と人権展」の開催 7月下旬から8月上旬まで開催予定 ②平和と人権を考える市民のつどい」の参加 7月8日(堺市と協力して人権活動に取り組んでいる世界人権宣言促進堺連絡会の主催)・平和行進等へ市長メッセージを送付。・堺原爆展、堺平和のための戦争展の後援をします。③自由都市・堺 平和貢献賞2,535,000円。平和と権展2,048,000円。平和と人権資料館運営費 15,777,000円。原爆被害者の会補助金 130,000円。④市長署名を日本非核宣言自治体協議会へ送付しました(平成28年度)。</p>	<p>①堺原爆被害者の会(広長会)、堺原爆被害者2世の会(堺広長2世の会)②原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく健康診断(大阪府からの委託による)。各種申請等の大阪府への経由等</p>
<p>和泉市</p>	<p>①(1)市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で実施。・平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙、市ホームページで実施し、作品展示を7月～8月に、市内公共施設(4か所)で開催。・学校園、保育園に「平和千羽鶴展」の作品募集、展示案内。・平和映画会を8月に実施。・人権平和市民研修会の開催(戦跡等のフィールドワーク等)。・平和フェスタの開催(講演会・コンサートやパネル展示等)。(2)平和啓発ビデオの購入とその貸し出し。(3)市民から寄贈いただいた戦時用品の貸し出し ②(1)市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働で事業実施。(2)反核平和マラソン、国民平和行進、非核・平和行進に市長メッセージ、飲料提供等③1,285,000円④取り組んでいない</p>	<p>①原爆被害者の会「和泉市楠の会」 ②上記の団体に補助金を交付の上、団体の活動・福祉の向上を図る。被爆者援護施策については、生きがい健康部高齢介護室が担当</p>
<p>泉大津市</p>	<p>①・平和メッセージ展・・・市内の幼稚園・保育所・認定こども園、小学生を中心に、平和を願うイラストをうちわに描いていただき、展示する。(7月10日(火)～17日(火))アルザ泉大津2階回廊部にて)。・平和パネル展・・・平和に関するパネルを展示(8月1日(水)～6日(月))市役所1階ロビーにて。・平和メッセージ展、平和パネル展にて「戦没者遺族会」の一部展示スペースの提供。・子ども平和学習プログラム・・・中学校3年生時の広島への修学旅行に向けての事前平和学習の講演会を行う。・サレム吹聴・・・戦争で犠牲となった人々に対する鎮魂、また、全世界から戦争と核兵器の永久追放を願い、市役所のサイレンを1分間吹鳴する。(8月6日(月)、9日(木)、15日(水))。・平和行進団体へのメッセージ送付。・非核平和啓発看板を市役所庁舎外壁に掲出、非核平和柱・パネルを市内各所に設置。②平和行進団体へメッセージ送付③354千円④なし</p>	<p>①泉大津原爆被害者の会 ②活動運営補助金の交付</p>
<p>忠岡町</p>	<p>①・中学校では修学旅行で広島へ行き、平和学習を行う。【7月】(1)平和行進(町長メッセージ)(2)「光の箱」作製・展示。【8月】(1)啓発懸垂幕の掲示(2)街頭啓発(3)ピースおおさか見学会(4)非核平和パネル展(8月4日～9日)。(5)非核平和図書コーナー設置(8月1日～20日)(6)終戦記念平和祈念事業(町長メッセージ、平和の鐘打鐘)②平和行進(町長メッセージ)③・非核平和事業啓発物品代 60,000円、・借上料 100,000円(ピース大阪見学会の費用)・使用料 55,000円(ピース大阪見学会の費用)④未定</p>	<p>①原爆被害者の会②町単独制度なし</p>
<p>岸和田市</p>	<p>①(1)子ども平和映画会 6/16に岸和田市立文化会館(マドカホール)にて開催・小学生対象に午前・午後映画を上映(この世界の片隅に)。・平和関係写真パネルをロビーで展示。(2)平和行進・マラソン湯茶接待(市役所新玄関)(3)巡回平和パネル展 写真パネルを展示し平和啓発を行う。難民パネル展～紛争のない世界を求めて～山直市民センター6/6(水)～6/12(火)→春木市民センター6/13(水)～6/19(火)→桜台市民センター(6/20(水)～6/26(火))→市役所新玄関6/27(水)～7/3(火)→八木市民センター7/4(水)～7/10(火)→東岸和田センター7/11(水)～7/17(火)、(4)非核平和資料展(8/1～8/5 岸和田市立白泉会館) 特攻に関するパネル、原子爆弾に関するパネル、戦時中の現物資料等を展示し、平和啓発を行う。また平和に関する講演会や映画の上映、朗読グループによる朗読劇などを実施予定。(5)被爆地・ヒロシマへの平和バス(7/22～7/23広島市) 市民40人を広島へ派遣し、広島平和祈念資料館見学、平和祈念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデオ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。(6)ピースネット 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・公益財団法人長崎平和推進協会が学校向けに無料で実施しているピースネット事業(長崎県在住の被爆者がインターネットテレビ会議システムを通じて小学校児童に被爆体験を語る)を、岸和田市立小学校5校を対象に実施。②平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市役所新玄関)③平和推進事業1,729千円④具体的な取組は行っていない</p>	<p>①岸和田市原爆被害者の会(通称:はづき会)②見舞金(一人当たり1万円/年)</p> 
<p>貝塚市</p>	<p>①・関係機関からのポスターやチラシの掲示・配布 ・「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り組む。・小中学校で夏季休業中に平和登校を実施。・小学校は広島、中学校(1校を除く)は長崎、沖縄への修学旅行で反戦・平和を学習 ・原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙とう。・平和記念像・核兵器廃絶平和宣言都市碑・「平和のどもしび」像 ②平和行進へのメッセージや激励③人権啓発事業と捉えた予算としていることから、本施策に対して、明確に定めていない④取り組んでいる</p>	<p>①なし(貝塚市原爆被害者の会は平成28年4月24日解散)②被爆者見舞金</p>
<p>熊取町</p>	<p>①・戦没者等合同追悼式(11月11日)・平和パネル・ポスター展(8月11日～8月29日)・小中学校において、夏季休業中に登校日を設け、平和学習を実施(8月中旬)・人権平和フィールドワーク(8月26日)②網の目平和行進への町長メッセージ。後援・・・第38回反核・平和のつどい(反核・平和のつどい実行委員会) ③・戦没者等遺族援護事業772千円。・泉佐野原爆被害者協議会 熊取地区補助金33千円。・人権平和フィールドワーク191千円。④平成29年度に町長署名</p>	<p>①泉佐野原爆被害者協議会 熊取地区会 ②団体への補助金の交付</p>
<p>泉佐野市</p>	<p>①(1)「平和を考えるつどい(映画会)」(予定)反戦・平和に関するアニメ映画上映。・広島・長崎原爆パネル展、(2)市広報への現物資料の掲載 (3)庁内放送での黙祷の呼びかけ ②(1)「反核・平和のつどい」「反戦の夕べ」への後援(2)平和行進出発式等での激励の挨拶 ③特になし④特になし</p>	<p>①泉佐野原爆被害者協議会②特になし</p>
<p>田尻町</p>	<p>①平和について考えるパネル展町立学校における平和学習②毎年、泉南地域網の目平和行進に対して本町役場庁舎前及び庁舎トイレ、駐車場を貸出している。③0円④なし</p>	<p>①泉佐野原爆被害者協議会②なし</p>
<p>泉南市</p>	<p>①(1)非核平和の集い 8月19日(日)午後1時30分開場・2時開会 文化ホール・講演会「夢と絆」講師:蓮池 薫氏(新潟産業大学経済学部准教授) ※泉南市人権啓発推進協議会等と共催で実施。(2)懸垂幕の掲示 8月1日(水)～8月31日(金) 市役所壁面。(3)ビデオ上映 8月1日(水)～8月15日(水) 市役所ロビー 平和継承DVD「現在(いま)を生きるこどもたちへ語り継ぐ!私たちの戦争体験」。(4)非核平和の図書コーナー及び非核平和写真 8月1日(水)～8月31日(金) 市立図書館(月曜休館)(5)ビデオ上映 8月15日(水) 市立青少年センター「火の海大阪」「いわたくんちのおばあちゃん」(6)夏休み公民館映画館 8月25日(土) 樽井公民館「しんちゃんのおさんりんしゃ」「おかあちゃんごめんね」②なし③非核平和の集い一式349,000円④なし</p>	<p>①泉南市被爆者の会(2017年高齢の為解散となりました)②不明</p>
<p>阪南市</p>	<p>①市役所ロビーにて非核平和パネル展の実施(8月3日～8日)。防災無線にて市内全域に黙祷の実施を呼びかけ、正午にサイレンを鳴らします(8月15日)②泉州平和人権連帯会議が主催する非核・平和行進に協賛金を、原水爆禁止泉佐野・泉南地区協議会に賛助金を市及び市議会から支出しています。③0円④ヒバクシャ国際署名については、今回署名しました。</p>	<p>①把握していません②行っていません</p>



「平和作文コンクール」を開催しており、優秀な成績を収めた入

水戸市では昭和六〇年七月一日「核兵器廃絶平和都市宣言」をあげています。その趣旨を水戸市発行の平和事業パンフには、「水戸市は、わが国憲法の崇高な平和主義の理念に基づき、全ての国の核兵器の全面廃絶を求め、核兵器廃絶平和都市を宣言しました」と述べています。



わせていませんが、 α 線を使ってnを発生させこれをn(i)とする方式には変わりがないようです。

賞者一二名を水戸市平和大使に任命し、広島へ派遣しています。そのための予算を一〇〇万円計上している、とのこと。近隣の自治体からも見学にこ



れ、毎年予算を計上されているのに驚かれていますとのことです。訪問した時には、展示には、水戸市の空襲被害とあわせて「原爆展」も開催されていました。建物は決して大きくはありませんが、丁寧な展示と若者に視点をおいた平和事業にとりくんでおられます。場所 水戸市三の丸一丁目四番一九号（JR水戸駅徒歩五分）休館日は火・水曜日です。入場無料

ノーモア・ヒバクシャ 近畿訴訟・全面勝利をめざすつどいの報告

豊島達哉

六月二日。大阪グリーン会馆で「ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟・全面勝利をめざすつどい」が開催されました。

つどいはこの一年の間になくなられた原告をはじめとする被爆者の皆さんに対する黙祷から始まりました。そして最初のプログラムは日本被団協事務局次長の和田征子さんによる記念講演「核兵器のない世界へ」被爆者の想い」でした。

和田征子さんは一歳一〇ヶ月で被爆したため、被爆の記憶はないものの、お母様から聞いた被爆の実相をお話しされ、被団協設立から核兵器禁止条約採択までの流れの中で被爆者たちがどのような思いで運動をしてきたか、また核兵器廃絶が今、いかに必要かというお話を丁寧な講演してくださいました。また和



田征子さんは昨年一月、バチカンで行われた国際会議「核兵器のない世界と統合的軍縮への展望」に出席されており、その内容と様子も報告してくださいました。

次には川口真由美さんの「愛と平和のうたごえ」ミニコンサートがありました。川口さんのパワフルで優しさあふれる歌声は、私たちを励ましてくれるものでした。

♪闇は光に勝てない♪嘘は誠に勝てない♪真実は沈まない♪私たち諦めない 会場全員で合唱をしました。そして次は弁護士から、愛須勝也弁護士(弁

護団事務局長)が裁判の経過報告と運動の到達点について報告がされました。国は今までの訴訟で証拠にされてきた文献の執筆者に研究成果と矛盾する内容の意見書を書かせるなど、なりふり構わない抗戦態勢で訴訟に臨んでいます。弁護士もこれに対して協力医師の力も得てこれをはね返しており、新しい局面でのたまたかが行われているとの報告が行われました。

その後、現在裁判闘争を続けている被爆者二名の紹介があり、会場全体で激励がされました。

最後に西晃弁護士からまとめと閉会のあいさつが行われました。毎年この時期に「全面勝利をめざすつどい」を開催してみんなの団結をはかり、お互いを励まし合ってきたが、

一日も早く全面解決を果たし、来年は「勝利をめざすつどい」ではなく「祝勝会」を！と、力強い呼びかけが行わ

れました。暖かく力強い集会でした。核兵器禁止条約の成立にむけて、各国の署名、批准が進むよう世界的な運動が続くこの時期に、ノーモアヒバクシャ訴訟もまた全面勝利をかちとろうと、決意を新たにしたいでした。

森田敏彦先生と歩く

非核の会の戦跡ウォークは東淀川につき二回目の参加です。案内は『大阪 戦争モノ語り』著者の森田敏彦さん。六月九日は快晴、暑い日でした。しかも外国人観光客がごったがえすナンバ界限ですから、雑踏と店の喧騒



高島屋前で説明される森田先生



「えつ、国の重文？」
文化財第一号とあり、説明板には、重要です。説明板には、重要な文化財第一号とあり、

が加わり暑さが倍増です。高島屋前に集合し、ミナミを歩き回り、戦火をくぐりぬけながらも今は無き電気科学館の四ツ橋で解散しました。建て替えの激しい地域ですから、東淀川のように戦争遺跡がまだどっかりと存在感をもっているとはいえません。でも、空襲前と空襲後のミナミ・千日前の写真を比べ、今の姿とも重ねながら、想像をめぐらす戦跡めぐりでした。

全焼した大乘坊には、寺の前に一トン爆弾の錆びたシツポの部分が残った法善寺、鉄筋コンクリート三階建てだったため戦火をくぐりぬけた三津寺は、三津寺筋の地名にも名を残し、いまでも風情ある景色となっています。三月一三、一四日の大空襲では、広いはずの御堂筋まで炎の川となつたそうです。寒い三月、炎に追われた人々は道頓堀川に難を逃れました。今は外国人ばかりの戎橋やかに道楽あたる風景と戦火に逃げ



人です。本堂は焼失しましたが水かけ不動が残った法善寺、鉄筋コンクリート三階建てだったため戦火をくぐりぬけた三津寺は、三津寺筋の地名にも名を残し、いまでも風情ある景色となっています。三月一三、一四日の大空襲では、広いはずの御堂筋まで炎の川となつたそうです。寒い三月、炎に追われた人々は道頓堀川に難を逃れました。今は外国人ばかりの戎橋やかに道楽あたる風景と戦火に逃げ

2018年 **夏の非核どきみ** **案内**

□当会の取り組み
 7月18日(水) AM10:30~ 河内長野市との懇談
 7月25日(水) AM10:30~ 河南町との懇談

□関係諸団体の取り組み
 7月22日(日) PM1:30~ 此花会館梅香殿
 「朝鮮半島の非核化・平和の構築を 歓迎する集い」
 北東アジアの平和のために～朝鮮半島の動きと韓国の市民運動、そして日本～
 講演：康宗憲(カン・ジュンホン)さん
 *文化行事：朝鮮学校生徒による朝鮮民族舞踊
 共催団体：大阪AALA・大阪安保・大阪革新懇・大阪原水協・大阪平和委員会・日中友好協会大阪府連・日本コリア協会大阪・日本ベトナム友好協会大阪府連・日本ユーラシア協会大阪府連
 参加費500円

7月26日(木) 午前 「模擬原爆追悼式」
 大阪市東住吉区田辺 慰霊碑前

7月31日(火) ノーモア・ヒバクシャ訴訟 地裁

8月1日(水) 「海外代表と語ろうピースインおおさか」 PM1:00 たかつガーデン
 海外代表：アメリカの青年アリソンさん
 韓国・参与連帯のイ・ジュンキュさん
 参加費無料

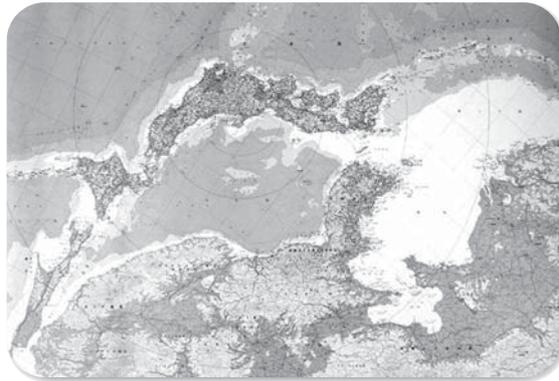
8月4日(土)～6日(月) 原水爆禁止2018年世界大会 今年度は広島が中心です。
 参加申し込み、詳細な問い合わせは大阪原水協へ
TEL 06-6765-2552
FAX 06-6765-2837

「お詫び」
 前号の林裕也さんのビキニ報告続編は、次号九月号に掲載させていただきます。

まどった人の姿を重ね合わせて大空襲被害を偲びました。参加者は講師を含め一人でした。(山上俊夫)

今年度の非核の意見広告ポスター(素案)
【テーマ】核兵器禁止条約で
北東アジアの非核化を

今こそ非核の政府、平和憲法を生かす政府を



スローガンは上記で決定、図案は検討中です
【応募方法と賛同金、締切日時】
 団体：一口3,000円 個人：一口1,000円
 締切：10月15日 国連軍縮週間に完成予定
 ※詳細は非核の政府を求める大阪の会事務局 意見広告係へ問い合わせください
TEL 06-6765-3032 FAX 06-6765-3033